

# N

# F

# C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

没後50年 溝口健二再発見

Kenji Mizoguchi Retrospective

10月31日(火) - 11月16日(水)

11月28日(火) - 12月27日(水)

11-12月の休館日:

月曜日, 11月17日(金), 12月28日(木) - 12月31日(日)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo



没後50年

# 溝口健二再発見

## Kenji Mizoguchi Retrospective



2006

# 11-12

NFCカレンダー  
2006年11-12月号

# 大ホール 上映作品

没後50年  
溝口健二再発見  
Kenji Mizoguchi Retrospective

2006年は、世界の映画史に輝く巨匠・溝口健二が逝去して50年となる記念の年です。鋭利で容赦ない人間への観察眼、妥協を許さぬ演出姿勢、そして大胆さと繊細さを兼ね備えたカメラワークが生み出した溝口監督の傑作群は、日本国内だけでなく世界の映画ファンからの限りの敬愛を受けて現在に至っています。

1898(明治31)年、東京に生まれた溝口健二は、1920年に日活向島撮影所に入社、1923年に『愛に甦る日』で監督デビューを果たします。表現主義の洗礼を受けながら演出術を研鑽、やがて日活のトーキー第1作となる『ふるさと』(1930年)に携わります。名作『瀧の白糸』(1933年)などを生み出した無声時代を経て本格的なトーキー時代に入り、リアリズムの作風を身につけた溝口は、関西の風土に根ざした傑作悲劇『浪華悲歌』や『祇園の姉妹』(いずれも1936年)を発表、その後は『元禄忠臣蔵』(1941-42年)といった大作にも起用されるようになりました。

終戦後の溝口は、世情の移り変わりを踏まえながら新しい映画作りを模索、『夜の女たち』(1948年)からは従来のリアリズムを深化させ、さらに古典文学をベースにした『西鶴一代女』(1952年)や『雨月物語』(1953年)、さらに『山椒大夫』(1954年)といった畢生の傑作群を生み出すことで、海外でも高い評価を得るようになります。1956年の死は、あまりに早かったと言わざるを得ません。

また、溝口の映画世界を語るには、脚本家の依田義賢、撮影の宮川一夫、美術の水谷浩といった類い稀な才能を擁した協力者たちの名を欠かすことはできません。さらに“女性映画の名手”としての溝口にフォーカスを当てると、身勝手な男たちの中で翻弄される女性像を演じた山田五十鈴や田中絹代、京マチ子といった名女優たちもそこに加わるでしょう。

フィルムセンターはこの貴重な機会に、フィルムの現存する34の監督作と、溝口の人間性と創作の秘密を追ったドキュメンタリーを合わせた計35本を連続上映いたします。フィルムセンターでは、1978年6月に「溝口健二監督特集」を開催して以来28年ぶりの本格的な同監督特集となります。世界に冠たる溝口芸術の真髄に触れていただければ幸いです。

- 監=監督 原=原作・原案 脚=脚本・脚色・潤色 撮=撮影 装=美術・装置・舞台設計 音=音楽・選曲・作詞 出=出演
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 本企画で上映する一部の無声映画作品は、小ホール上映企画「シネマの冒険 闇と音楽2006」で、11月3日(金・祝)から11月5日(日)に活弁もしくは音楽伴奏つきで上映されます。



東京行進曲

1 10/31(水)3:00pm 11/15(水)7:00pm

## 東京行進曲

(22分・18fps・16mm・無声・白黒・部分)

\*この作品は小ホール企画「シネマの冒険 闇と音楽」でも上映されます(活弁つき)。

菊池寛の小説の映画化で、近代的な都市風景をバックに展開されるクラシカルな恋愛劇。貧民の娘と富豪の子息との間に秘められた過去に、社会的な矛盾もまた浮かび上がる。現存するのは部分のみであり、今回上映されるのはフィルムセンター所蔵版である。

'29(日活太秦) 菊池寛 木村千代男 松沢又男 横田達之 夏川静江 一木礼二 高木永二 小杉勇 入江たか子 佐久間妙子 滝花久子

## 朝日は輝く

(25分・18fps・35mm・無声・白黒・部分)

大阪朝日新聞社が創刊50周年記念として日活に製作を委託した宣伝映画。伊奈精一との共同監督とされている。残存部分は公開時の約4分の1で、劇映画的な部分を除いて再編集した版と思われるため、溝口の関与した部分の大きさは不明である。船舶火災の海上取材、オートバイへの原稿受け渡しなどが活劇調で描かれ、新聞の作られる過程もくまなくとられている。

'29(大阪朝日新聞社=日活京都) 溝口健二 伊奈精一 木村千代男 横田達之 中野英治 村田宏壽

## ふるさとの歌

(50分・20fps・35mm・無声・白黒)

\*この作品は小ホール企画「シネマの冒険 闇と音楽」でも上映されます(伴奏つき)。

現存するもっとも初期の溝口作品。文部省が日活に製作を委託した作品で、都会生活よりも郷土愛を説く主人公の学生姿などにはプロバガンダの要素も見られる。だが一方で、列車や車といった乗り物が見せる田園風景のパースペクティブなどが大胆に捉えられており、視覚的な魅力にも富んでいる。

'25(文部省=日活) 松居張二 清水龍之介 横田達之 亀原嘉明 木藤茂 高木耕二郎 伊藤寿栄子 辻峯子 川又賢太郎 加藤司郎 松本静江 橋道子 宇田川寒待 川田弘道

2 10/31(水)7:00pm 12/3(日)2:00pm  
12/15(金)7:00pm

## 藤原義江のふるさと

(86分・21fps・35mm・白黒・英語字幕付)

皆川芳造により開発されたミナトーキーを採用し、“我ががテナー”として親まれたオペラ歌手藤原義江を主演に迎えたパートトーキー作品で、大怪我を負いながらも、妻の真実の愛に目覚めて再起を図る声楽家を描いた。「新しいもの好き」を自称した溝口は、日活初のトーキー映画にいち早く名乗りを上げた。製作当時の撮影速度に合わせ、1秒21コマで映写する。

'30(日活太秦=ミナトーキー) 森岩雄 如月敏 横田達之 榎本寅藏 北猛夫 藤原義江 小杉勇 土井平太郎 村田宏壽 田村邦男 夏川静江 浜口富士子 佐久間妙子 高津愛子 リディア・シャピロ



ふるさと

3 11/1(水)3:00pm 11/16(木)7:00pm

## 瀧の白糸

(102分・24fps・35mm・無声・白黒)

\*この作品は小ホール企画「シネマの冒険 闇と音楽」でも上映されます(活弁つき)。

泉鏡花の「義血俠血」を原作とする、無声期の溝口を代表する新派メロドラマ。愛する青年の夢を叶えるべく、身を削って金の仕送りをする水芸の大夫・瀧の白糸の破滅を、溝口らしい容赦ない筆致で描いている。製作は、美貌と気品でスターに登りつめた入江たか子が兄の東坊城恭長と設立したプロダクションだが、現代女優の個人プロダクションは当時極めて珍しかった。

'33(入江ぶろだくしょん) 泉鏡花 東坊城恭長 館岡謙之助 増田真二 三木茂 西七郎 入江たか子 岡田時彦 村田宏壽 菅井一郎 見明凡太郎(朗) 大泉浩二 ジョー・オハラ 沖悦二 川瀬隆司 浦辺象子 瀧静子

4 11/1(水)7:00pm 11/14(水)3:00pm

## 折鶴お千

(91分・35mm・白黒・サウンド版)

\*この作品は小ホール企画「シネマの冒険 闇と音楽」でも上映されます(活弁つき)。

泉鏡花の「売色鴨南蛮」が原作。悪徳商人に利用され、運命に弄ばれた男女があまりに対照的な人生を歩むことになる展開は、『瀧の白糸』にも通ずる。溝口がしばしばテーマにした“男のために身を滅ぼす女”はここでは冷徹な眼差しで捉えられ、当時17歳の山田五十鈴が演じた、慈悲の心と艶やかさ、そして絶望感を兼ね備えたお千のキャラクターが見事である。

'35(第一映画) 泉鏡花 高島達之助 三木稔 小栗美二 夏川大二郎 山田五十鈴 芳沢一郎(羅門光三郎) 芝田新 島井正 藤井源市 北村純一 瀧沢静子 中野英治

5 11/2(木)3:00pm 11/28(水)7:00pm  
12/17(日)11:00am

## マリヤのお雪

(80分・35mm・白黒)

モーパッサンの「脂肪の塊」が背景とした普仏戦争を日本の西南戦争に置き換え、川口松太郎が独自の展開を加えて舞台用に書き上げた「乗合馬車」が原作。都合に合わせて調子良く振る舞うブルジョアの姿が、酌婦たちの目を介して描かれる。敗残の兵と官軍とが争う銃撃戦は、溝口映画としては珍しいシーンである。

'35(第一映画) 川口松太郎 高島達之助 三木稔 西七郎 高木孝一 山田五十鈴 原駒子 夏川大二郎 中野英治 歌川絹枝 梅村蓉子 大泉慶治 芝田新 根岸東一郎

6 11/2(木)7:00pm 12/1(金)3:00pm  
12/16(土)5:00pm

## 虞美人草

(73分・35mm・白黒)

夏目漱石の同名小説に、伊藤大輔が潤色を加えた一篇。主人公の男が二分された社会層、二人の女のもとをきつ戻りし、自他の心を動揺させる。原作が令嬢の藤尾をヒロインとしたのとは違い、大倉千代子扮する庶民の女・小夜子が、映画ではヒロインに位置づけられた。小夜子はもともと山田五十鈴が演じていたという。松竹大谷図書館所蔵の可燃性オリジナル・ネガより復元した。

'35(第一映画) 夏目漱石 伊藤大輔 高柳春雄 三木稔 西七郎 酒井龍峯 高木孝一 田田一郎 夏川大二郎 武田一義 大倉千代子 岩田祐吉 三宅邦子 根岸東一郎 寺島真 小泉嘉輔 梅村蓉子 二條あや子



愛怨怱

7 11/3(金)11:00am 11/29(水)3:00pm  
12/14(木)7:00pm

### 浪華悲歌 (71分・35mm・白黒)

日活を脱退した永田雅一に従って第一映画に加わった溝口の最初の作品。20日ほどで仕上げることを余儀なくされたが、近代都市大阪を背景に、大阪弁と土地のローカルな気質が盛り込まれた。その結果、モダニズムの香る生き生きとした傑作となり、ヒロインの救いようのない哀れな境遇も過度の陰鬱さを感じさせない。

'36(第一映画)◎溝口健二◎依田義賢◎三木稔◎山田五十鈴◎梅村蓉子◎大倉千代子◎大久保清子◎浅香新八郎◎志賀酒家辨慶◎進藤英太郎◎田村邦男◎原健作◎橋光造◎志村喬◎竹川誠一◎滝沢静子

8 11/3(金)2:00pm 12/2(土)5:00pm  
12/13(水)3:00pm

### 祇園の姉妹 (69分・35mm・白黒)

『浪華悲歌』では大阪弁の言葉遣いが気になって演出が手薄になったという監督が、本作では京都の花街に生きる姉妹芸者の人物造型に挑戦した。結末の芸妓(山田)の絶叫とともに、当時から絶賛を浴びた溝口=依田コンビによるリアリズム路線の傑作。『浪華悲歌』と本作によって、第一映画は短命ながらも日本映画史に輝くプロダクションとなる。

'36(第一映画)◎溝口健二◎依田義賢◎三木稔◎山田五十鈴◎梅村蓉子◎志賀酒家辨慶◎久野和子◎大倉文男◎深見泰三◎進藤英太郎◎いわま桜子◎林家染之助◎葵令子◎滝沢静子◎橋光造◎三樹源女

9 11/3(金)5:00pm 12/3(日)11:00am  
12/26(火)3:00pm

### 愛怨映 (89分・35mm・白黒)

溝口の新興キネマ第1作で、新興のいわばアイドル・スターだった山路ふみ子が主演した。川口松太郎による提案で、トルストイの『復活』をもとに依田が独自の展開を書き加えて脚本化したもので、前2作と違い、気弱で行動力のない男を憐れむ余裕のある自立した女がヒロインとなった。長らくの間、劣化して上映不能の16mmプリント一本しかなく、今回のプリントはそこから複製したもの。

'37(新興キネマ東京)◎川口松太郎◎溝口健二◎依田義賢◎三木稔◎水谷浩◎宇賀神味津男◎山路ふみ子◎河津清三郎◎清水将夫◎三樹豊◎明清江◎加藤精一◎田中春男◎野辺かほる◎浦辺条子◎大泉慶治

10 11/4(土)11:00am 12/10(日)4:30pm  
12/20(水)3:00pm

### 残菊物語 (143分・35mm・白黒)

村松梢風の同名実録小説を原作にした、一人の歌舞伎役者の悲哀に満ちた出世譚である。『浪華悲歌』以来溝口が用いていた長回しのテクニクはここで完成度を一気に高め、緊張感あふれる大作となった。花柳章太郎の初出演作品である本作は、フィルムの現存しない『浪花女』や『芸道一代男』と合わせて『芸道三部作』と呼ばれる。

'39(松竹下加茂)◎村松梢風◎依田義賢◎三木滋人◎藤洋三◎水谷浩◎深井史郎◎花柳章太郎◎森森子◎高田浩吉◎川浪良太郎◎高松錦之助◎葉山純之輔◎尾上多見太郎◎結城一朗◎南光明◎天野刃一◎井上晴夫◎石原須磨夫◎廣田昶◎富本民平◎保瀬英二郎◎伏見信子◎花岡菊子◎白河富士子◎最上米子◎中川芳江◎河原崎崎十郎◎梅村蓉子

11 11/4(土)2:00pm 12/6(水)3:00pm  
12/19(火)3:00pm

### 元禄忠臣蔵 前篇 (112分・35mm・白黒)

歌舞伎や映画でおなじみのスペクタクルを重視した「仮名手本忠臣蔵」ではなく、史実を徹底調査した「真山版忠臣蔵」が原作である。溝口の時代考証への熱意に応え、美術監督・水谷浩は原寸大の「松の廊下」セットを作ったが、まったく写らないところまで実に精密に作ったため、さすがの溝口も驚いたという。なお、この前篇封切りの直後に日米が開戦している。

'41(興亜映画)◎眞山青果◎原健一郎◎依田義賢◎杉山公平◎水谷浩◎深井史郎◎河原崎長十郎◎中村砥右衛門◎河原崎國太郎◎嵐芳三郎◎坂東調右衛門◎助高屋助藏◎瀬川菊之丞◎市川笑太郎◎三浦光子◎瀧見すが子◎岡田和子◎山路ふみ子◎京町みち代◎中村梅之助◎三井康子◎山岸しづ江◎小杉勇

12 11/4(土)5:00pm 12/6(水)7:00pm  
12/19(火)7:00pm

### 元禄忠臣蔵 後篇 (106分・35mm・白黒)

「ショーは撮らない」という溝口が、セットまで完成していたから「忠臣蔵」につきもの討入りシーンを撮らなかったことで知られる後篇。引き続き隙のない作りを見せ、結局、討入りの様子に間接的に語られるという方法が採られた。映画統制のため興亜映画は松竹に吸収され、後篇の製作は松竹が引き継いだ。

'42(松竹京都)◎眞山青果◎原健一郎◎依田義賢◎杉山公平◎水谷浩◎深井史郎◎河原崎長十郎◎中村砥右衛門◎中村鶴藏◎河原崎國太郎◎嵐芳三郎◎坂東調右衛門◎助高屋助藏◎瀬川菊之丞◎市川笑太郎◎梅村蓉子◎山路ふみ子◎三浦光子◎高峰三枝子◎河津清三郎

13 11/5(日)11:00am 11/30(水)3:00pm  
12/12(火)7:00pm

### 宮本武蔵 (55分・35mm・白黒)

吉川英治の連載小説ではなく菊池寛を原作に仰ぎ、野々宮姉弟の復讐の物語としての『宮本武蔵』を構築した点ですら異色である。ここではすでに達人となった武蔵が描かれ、一乗寺の決闘後から巖流島での佐々木小次郎との一騎打ちまでが盛り込まれている。

'44(松竹京都)◎菊池寛◎河口松太郎◎三木滋人◎河原崎長十郎◎中村砥右衛門◎生島喜五郎◎田中絹代

### 名刀美女丸 (67分・35mm・白黒)

恩人の死を乗り越えて動皇一派のために刀を鍛え、成長してゆく幕末の若い刀鍛冶(花柳)を描く。敗戦ムードが高まる中、国策映画としての限界も感じさせるが、随所にユーモアや情緒が感じられる。山田五十鈴演じる恩人の娘の幻に守られて、刀鍛冶が火花を散らしながら刀を打つ幻想的なシーンが見所。

'45(松竹京都)◎河口松太郎◎三木滋人◎花柳章太郎◎伊志井寛◎柳永二郎◎大矢市次郎◎山田五十鈴

14 11/5(日)2:00pm 12/5(火)3:00pm

### 必勝歌 (80分・35mm・白黒)

田坂具隆、清水宏、マキノ正博と共同で監督し、前線と銃後にわたる13のエピソードで日本人の「愛国精神」を描いたオムニバス映画。情報局の募集した愛国歌の一等当選となった『必勝歌』から着想された。溝口が監督した部分は後から付け加えられたもので、線路の除雪作業に献身する農家の親子の挿話である。

'45(松竹)◎共同監督◎清水宏◎田坂具隆◎マキノ正博◎田坂具隆◎清水宏◎岸松雄◎竹野治夫◎斎藤毅◎行山光一◎三木滋人◎堀保治◎佐野周二◎大矢市次郎◎沢村貞子◎嶋田照夫◎小杉勇◎三井秀男◎斎藤達雄◎高田浩吉◎沢村アキラ◎河村黎吉◎高峰三枝子◎轟夕起子◎田中絹代◎上原謙

15 11/5(日)5:00pm 12/8(金)7:00pm  
12/21(水)3:00pm

### 女性の勝利 (81分・35mm・白黒)

溝口の戦後第1作。占領軍の管理下で新たな検閲を受ける中、溝口が選んだのは、封建的觀念に束縛された女性の解放をテーマとする作品であった。絶望のどん底で赤ん坊を殺してしまった女学校時代の同級生(三浦)、その弁護を引き受ける凛々しい弁護士(田中)を描いているが、法廷での田中絹代の服装にはコスチューム・プレイの趣もある。

'46(松竹大船)◎野田高梧◎新藤兼人◎生方敏夫◎本木勇◎浅井拳◎田中絹代◎桑野通子◎三浦光子◎徳大寺伸◎若水絹子◎風見章子◎奈良真養◎松本克平◎高橋豊子◎長尾敏之助

16 11/7(火)3:00pm 12/9(土)2:00pm  
12/24(日)11:00am

### 歌麿をめぐる五人の女 (95分・35mm・白黒)

邦枝完二の小説「歌麿をめぐる女達」を原作に、江戸の浮世絵師歌麿と交渉を持った数多くの女性のうちの5人を依田が選んで脚色した。歌麿という人物を掘り下げのよりは江戸風俗の描写に重きを置き、時代考証にも退席の日本画家・甲斐庄楠音を起用した。封建社会批判の中にも軽妙なムードが感じられ、田中絹代が珍しく気性の激しい女を演じている。

'46(松竹京都)◎邦枝完二◎依田義賢◎三木滋人◎本木勇◎大澤壽人◎望月太明◎坂東義助◎坂東好太郎◎高松錦之助◎中村正太郎◎富本民平◎田中絹代◎飯塚敏子◎川崎弘子◎草島鏡子◎大原英子◎白妙公子◎堀正夫

17 11/7(火)7:00pm 12/8(金)3:00pm  
12/16(土)2:00pm

### 女優須磨子の戀 (96分・35mm・白黒)

明治・大正期到新劇運動のリーダーとなった島村抱月と、その草創期の大スター・松井須磨子の恋愛を、史実に極めて近い形で描いた作品。有名な「カチューシャの唄」が歌われるほか、「人形の家」や「カルメン」など、劇中劇を多用した構成になっている。なお、同じ題材で山田五十鈴主演の衣笠貞之助作品『女優』が競作となった。

'47(松竹京都)◎長田秀雄◎依田義賢◎三木滋人◎本木勇◎大澤壽人◎田中絹代◎山村聡◎毛利菊枝◎東山千榮子◎朝霧鏡子◎東野英治郎◎岸輝子◎小澤栄太郎◎青山杉作◎佐伯秀男

18 11/8(水)3:00pm 12/1(金)7:00pm  
12/23(土)2:00pm

### 夜の女たち (73分・35mm・白黒)

敗戦直後の焼け跡に生きる3人の女の凄惨な生き様を描き、戦後溝口の本格的な復活を告げた傑作である。この時代はそうした女性たちを扱った小説の映画化がいくつかあったが、久板栄二郎の原作による本作は特にヒットしたという。イタリアのネオレアリズモ運動に触発された溝口は、大阪の荒廃した市街地でロケーション撮影を敢行し、暴力的な描写も辞さない冷徹な視線を貫いた。

'48(松竹京都)◎久板栄二郎◎依田義賢◎杉山公平◎水谷浩◎大澤壽人◎田中絹代◎高杉早苗◎角田富江◎永田光男◎村田宏壽◎浦辺条子◎毛利菊枝◎富本民平◎大林梅子◎青山山◎横笑佐子

19 11/8(水)7:00pm 12/12(火)3:00pm  
12/23(土)5:00pm

### 我が戀は燃えぬ (84分・35mm・白黒)

女性解放運動の先駆者である影山英子の自伝を基にした作品で、『女性の勝利』や『女優須磨子の戀』と合わせてしばしば『女性解放三部作』とも呼ばれる。人身売買に出された娘(水戸)、政府のスパイに成り下がっていた恋人(小沢)、新しいパートナーとなる自由民権運動の闘士(菅井)などの間で、田中絹代演じる自由民権運動の闘士が成長してゆく。

'49(松竹京都)◎野田高梧◎依田義賢◎新藤兼人◎杉山公平◎水谷浩◎伊藤宣二◎田中絹代◎水戸光子◎三宅邦子◎菅井一郎◎千田是也◎東野英治郎◎小澤栄太郎◎松本克平◎濱田寅彦◎清水将夫◎宇野重吉

20 11/9(木)3:00pm 11/29(水)7:00pm  
12/10(日)2:00pm

### 雪夫人絵図 (85分・35mm・白黒)

撮影に先立って「昼は天使、夜は妖女」という主人公の「霊肉の分裂」を描きたいと語った、溝口初の新東宝作品。舟橋聖一のベストセラーを原作に、放蕩の夫を持った女の愛欲をテーマとする本作は、木暮実千代の影のある妖艶な美しさや小原譲治の生み出す濃密な画面調に支えられ、耽美的な世界を浮かび上がらせた。

'50(新東宝=滝村プロ)◎舟橋聖一◎依田義賢◎舟橋和郎◎小原譲治◎水谷浩◎早坂文雄◎上原謙◎木暮実千代◎濱田百合子◎久我美子◎柳栄二郎◎山村聡◎夏川静江◎浦邊条子◎加藤春哉◎田中春男

21 11/9(木)7:00pm 12/9(土)5:00pm  
12/17(日)2:00pm

### お遊さま (93分・35mm・白黒)

谷崎潤一郎の『蕨刈』を映画化したもので、溝口の黄金期を形作る大映における第1作であると同時に、宮川一夫が撮影を務めた初めての溝口作品。姉(田中)の方に惚れながら見合い相手の妹(乙羽)と結婚した一人の男(溝口)を通じて、三角関係の危ういバランスを描き抜いた。溝口と美術の水谷は、当時会社側がやりたがらなかった「明治もの」の新たな造形を提示した。

'51(大映京都)◎谷崎潤一郎◎依田義賢◎宮川一夫◎水谷浩◎早坂文雄◎田中絹代◎乙羽信子◎堀雄二◎柳栄二郎◎進藤英太郎◎東良之助◎南部彰三◎平井岐代子◎金剛麗子◎小松みどり

22 11/10(金)3:00pm 12/2(土)11:00am  
12/20(水)7:00pm

**武蔵野夫人**(88分・35mm・白黒)

スタンダード研究者であった大岡昇平の同名原作は、本格的な西歐風の心理的ロマンスとして当時から高く評価された。俗物のフランス文学の教授(森)とその悩める妻(田中)を軸に、入り乱れる恋愛関係はやがて破壊へと向かう。潤色に文学者・福田恆存を迎えたこと、瀬川巳喜男を支えたカメラマン玉井正夫が溝口流のクレン撮影に挑んだことでも特筆される。

'51(東宝)◎大岡昇平◎福田恆存、依田義賢◎玉井正夫◎松山崇◎早坂文雄◎田中絹代、轟夕起子、森雅之、片山明彦、山村聡、進藤英太郎、平井岐代子、中村美那子、千石規子、深見泰三

26 11/11(土)4:30pm 12/7(木)3:00pm  
12/13(水)7:00pm 12/24(日)2:00pm

**山椒大夫**(124分・35mm・白黒)

鵬外の有名な短篇を下敷にした、親から引き離された奴隷生活を強いられた兄妹の悲劇を綴った作品だが、中世の荘園や奴隷制度に対する厳密な調査が反映されており、溝口作品としても稀なほどの澄んだ感覚を持つ。すすきの原やラストの親子再会のシーンなどでは宮川撮影の真骨頂が見られ、溝口作品は本作で3年続いてヴェネチア国際映画祭で受賞した。

'54(大映京都)◎森鷗外◎八尋不二、依田義賢◎宮川一夫◎伊藤嘉潮◎早坂文雄◎田中絹代、花柳喜章、香川京子、進藤英太郎、菅井一郎、見明凡太郎(朗)、小園蓉子、浪花千栄子、毛利菊枝、三津田健

30 11/14(火)7:00pm 12/10(日)11:00am  
12/16(土)11:00am

**新・平家物語**(107分・35mm・カラー)

「週刊朝日」で連載された吉川英治の同名小説を、大映がシリーズとして映画化を企画したもので、この作品に続き第2作を衣笠貞之助、第3作を島耕二が手掛けた。壮大な歴史劇だが、繊細な人間の内面描写がなされており、映画デビュー2年目の市川雷蔵が溢れんばかりの若さで平清盛を演じた。上映プリントは近年フィルムセンターがデジタル技術による色彩復元を行った版。

'55(大映京都)◎吉川英治◎依田義賢、成澤昌茂、辻久一◎宮川一夫◎水谷浩◎早坂文雄◎市川雷蔵、久我美子、林成年、木暮実千代、大矢市次郎、進藤英太郎、菅井一郎、千田是也、柳永二郎、石黒達也

23 11/10(金)7:00pm 12/9(土)11:00am  
12/17(日)4:30pm 12/27(水)3:00pm

**西鶴一代女**(136分・35mm・白黒)

「好色一代女」の映画化は溝口が長年温めていた企画で、野心あふれるプロデューサー児井英生を得て実現した。封建的な男性社会に弄ばれた女の波瀾に満ちた一生に焦点を当て、エロティシズムよりはむしろ女性の苦渋を克明に描いている。ヴェネチア国際映画祭で監督賞を受賞し、海外に溝口の名を知らしめるさきがけの作品にもなった。

'52(児井プロダクション=新東宝)◎井原西鶴◎依田義賢◎平野好美◎水谷浩◎斎藤一郎◎田中絹代、山根壽子、三船敏郎、宇野重吉、菅井一郎、進藤英太郎、大泉滉、清水将夫、加東大介、小川虎之助、柳永二郎、原駒子

27 11/12(日)11:00am 12/2(土)2:00pm  
12/22(金)7:00pm

**噂の女**(83分・35mm・白黒)

溝口=絹代コンビの最後の作品となった本作は、京都の色街・島原遊郭が舞台。東京での失恋に傷心して帰郷した大学生(久我)は、置屋を営む母親の愛人(大谷)を巡っていつしか母(田中)と対立の関係になる。水谷の美術の中でも屈指の出来ばえと監督に言わせた置屋のセットも注目に値する。ショートカットに黒いタートルネックを着た久我美子が印象的。

'54(大映京都)◎依田義賢、成澤昌茂◎宮川一夫◎水谷浩◎黛敏郎◎田中絹代、大谷友右衛門、久我美子、進藤英太郎、見明凡太郎、浪花千栄子、田中春男、十朱久雄、阿井三千子、峰幸子

31 11/15(水)3:00pm 12/3(日)5:00pm  
12/23(土)11:00am

**赤線地帯**(85分・35mm・白黒)

溝口健二の遺作。題材としては『夜の女たち』に類するが、当時国会で討議中だった「売春防止法案」を視野に、溝口の弟子筋に当たる脚本家・成沢昌茂がシナリオに仕上げた。赤線廃止前後の娼館にさまざまな事情で吹き寄せられた、バイタリティに満ちた女たちの悲喜が豪華なキャストで描かれるが、そのリズムカルな演出の先に、重々しい味わいを残す一篇である。

'56(大映東京)◎成沢昌茂、芝木好子◎宮川一夫◎水谷浩◎黛敏郎◎京マチ子、若尾文子、三益愛子、木暮実千代、菅原謙二、川上庸子、進藤英太郎、見明凡太郎、田中春男、沢村貞子、加東大介、町田博子、浦辺粂子

24 11/11(土)11:00am 12/5(火)7:00pm  
12/15(金)3:00pm 12/24(日)5:00pm

**雨月物語**(96分・35mm・白黒)

戦国の世に、金欲に取り憑かれて妻まで犠牲にした男どもが、妖しい幻に翻弄されてすべてを失ってゆく様子を、厳密に構築されたなまめかしいカメラ移動を駆使して描写する。上田秋成の怪奇文学を基にした川口松太郎の連載小説を、依田が脚本にしたもので、その幽玄な世界は映画作家「ミゾグチ」の最高峰として世界に認められている。

'53(大映京都)◎上田秋成◎川口松太郎、依田義賢◎宮川一夫◎伊藤嘉潮◎早坂文雄◎京マチ子、水戸光子、田中絹代、森雅之、小澤榮、青山杉作、羅門光三郎、香川良介、上田吉二郎、南部彰三、毛利菊枝

28 11/12(日)2:00pm 11/30(木)7:00pm  
12/14(水)3:00pm 12/26(火)7:00pm

**近松物語**(101分・35mm・白黒)

原作は近松門左衛門の“姦通もの”の浄瑠璃「大経師昔歴」。スターらしい男性スターを避けていたとされる溝口が初めて長谷川一夫を起用、『山椒大夫』で認められた香川京子との間に映画史上に残る悲痛な恋愛劇を演じさせた。白黒階調の繊細さを極めた宮川の撮影功を奏し、逃げた二人が心中を一旦決意する湖上のシーンなど、凄絶さの中に清らかな印象を残す名篇。

'54(大映京都)◎近松門左衛門◎依田義賢◎宮川一夫◎水谷浩◎早坂文雄◎長谷川一夫、香川京子、進藤英太郎、小澤榮、菅井一郎、田中春男、石黒達也、浪花千栄子、十朱久雄、荒木忍

◆ 関連作品

32 11/16(木)3:00pm 12/27(水)6:30pm

**ある映画監督の生涯 私家版**

(150分・35mm・カラー)

新藤兼人が、自らが師として仰いだ溝口健二についての記録映画。生前の溝口と仕事をともにした39名の映画人へのインタビューを通じて、数々のエピソードとともに監督の創作の秘密に迫っている。今や故人となった映画人たちが多数出演している点でも貴重な記録である。

'75(近代映画協会)◎新藤兼人◎三宅義行◎入江たか子、永田雅一、山田五十鈴、三木茂、牛原彦彦、京マチ子、伊藤大輔、宮川一夫、増村保造、絲屋寿雄、香川京子、木暮実千代、山路ふみ子、津村秀夫、岡本健一、坂根田鶴子、乙羽信子、中村鷹治郎、進藤英太郎、小沢栄太郎

25 11/11(土)2:00pm 11/28(火)3:00pm  
12/21(木)7:00pm

**祇園囃子**(84分・35mm・白黒)

戦前の『祇園の姉妹』以来、久々に京都の色街を題材とする本作は、溝口自身「会社のいうことをきいた間に合わせの仕事」と述懐しているが、男たちの生臭い生臭や、女たちが諦念の中にしたたえた悲哀がさりげなく醸し出されている。現代っ子の舞妓(若尾)につきまとう上客を演じた河津清三郎など、ベテラン俳優たちが扮する脇役も作品に厚みを加えた。

'53(大映京都)◎川口松太郎◎依田義賢◎宮川一夫◎小池一美◎斎藤一郎◎木暮実千代、若尾文子、河津清三郎、進藤英太郎、菅井一郎、田中春男、小柴幹治、石原須磨磨、志賀実家、伊達三郎、浪花千栄子、毛利菊枝

29 11/12(日)5:00pm 12/7(木)7:00pm  
12/22(金)3:00pm

**楊貴妃**(91分・35mm・カラー)

溝口の初のカラー作品で、香港のショウ・ブラザーズとの合作だが、東洋的な美を演出すべく控えめな色彩に仕上げられた。楊貴妃(京)の生涯は玄宗皇帝(森)の回想という形式で語られ、皇帝の寵愛を受けながら親類の政治的野心となった楊貴妃を悲劇のヒロインとして美しく描いたが、歴史劇というよりは心理劇の趣が強くなっている。

'55(大映東京=香港ショウ・ブラザーズ)◎陶秦、川口松太郎、依田義賢、成澤昌茂◎杉山公平◎水谷浩◎早坂文雄◎京マチ子、森雅之、山村聡、進藤英太郎、小澤榮、杉村春子、南田洋子、見明凡太郎、石黒達也、信欣三



雨月物語



噂の女



赤線地帯

■トーク・イベント

▶11月8日(水)7:00pm  
『我が戀は燃えぬ』上映終了後  
ゲスト:井口奈己氏(映画監督)

▶12月7日(木)7:00pm  
『楊貴妃』上映終了後  
ゲスト:間野重雄氏(映画美術監督)

▶12月26日(火)7:00pm  
『近松物語』上映終了後  
ゲスト:柳町光男氏(映画監督)

\*トークのみの入場はできません。

大ホール(2階)

第7回東京フィルメックス  
特集上映  
岡本喜八 日本映画のダンディズム  
Special Program: Okamoto Kihachi Retrospective

11月18日(金)~11月26日(日)  
\*11月20日(月)休み  
\*詳細は東京フィルメックスのチラシあるいはホームページ  
(http://www.filmex.net/)をご覧ください。



結婚のすべて

展示室(7階)

【企画展】  
生誕110周年記念  
衣笠貞之助の世界

Teinosuke Kinugasa: From Female Impersonator to Master Filmmaker  
初期の女形から映画監督に転身、サイレント時代の実験映画『狂った一頁』(1926)から林長二郎主演の時代劇、戦後のカンヌ映画祭グランプリ作品『地獄門』(1953)まで幅広い業績を残した衣笠貞之助(1896~1982)。その遺品を通して、日本映画が誇る巨匠の足跡をたどります。



ポスター「雪之丞変化」(1935-36年、松竹)

【常設展】

展覧会 映画遺産  
— 東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより —  
The Japanese Film Heritage  
— From the Non-film Collection of the National Film Center —  
フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

10月3日(金)~11月16日(日), 11月18日(月)~12月27日(日), 2007年1月5日(金)~3月31日(日)

開室=休館日以外の火曜日~日曜日  
(午前11時~午後6時30分/入場は午後6時まで)  
料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/中学生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料  
\*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料も含まれます。  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示下さい。  
\*フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

小ホール(地下1階)

【京橋映画小劇場】No.4  
シネマの冒険 闇と音楽2006  
Silent Film Renaissance 2006

10月27日(金)~11月12日(日)  
\*上映は金・土・日曜日のみ  
定員=151名(各回入替制)  
発券=地下1階受付  
料金=一般1,000円/高校・大学生・シニア800円/小・中学生600円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料  
●観覧券は当日・当該回にのみ有効です。  
●発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。  
●学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。  
●発券は各回1名につき1枚のみです。  
●詳細は当該チラシをご覧ください。



喜劇 汗

図書室カレンダー

赤字は休業日

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

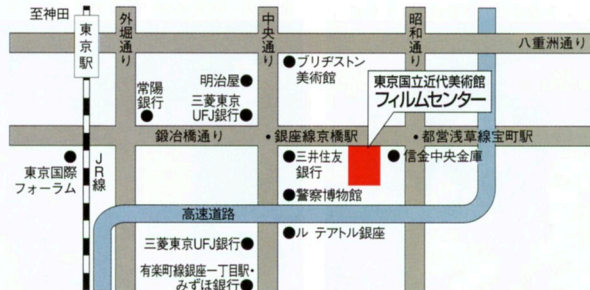
12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書室(4階) 開室=休館日および祝日以外の火曜日~土曜日  
(午後0時30分~午後6時30分/入室は午後6時まで)

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
▼交通:  
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600  
NFCホームページ:  
http://www.momat.go.jp/  
NFC携帯電話ホームページ:  
http://www.momat.go.jp/nfc/k/



月	火	水	木	金	土	日
10月	30 1 ふるさとの歌 他 (計97分) 3:00pm	1 3 瀧の白糸 3:00pm (102分)	2 5 マリアのお雪 3:00pm (80分)	7 7 浪華悲歌 11:00am (71分)	3 10 残菊物語 11:00am (143分)	5 13 宮本武蔵 名刀美女丸 11:00am (55分) (67分)
	2 藤原義江の ふるさと (86分) 7:00pm	4 折鶴お千 7:00pm (91分)	6 虞美人草 7:00pm (73分)	8 祇園の姉妹 2:00pm (69分)	4 11 元禄忠臣蔵 前篇 2:00pm (112分)	5 14 必勝歌 2:00pm (80分)
				9 愛怨峽 5:00pm (89分)	3 12 元禄忠臣蔵 後篇 5:00pm (106分)	5 15 女性の勝利 5:00pm (81分)
11月	6 16 歌麿をめぐる五人の女 (95分) 3:00pm	8 18 夜の女たち 3:00pm (73分)	9 20 雪夫人絵図 3:00pm (85分)	10 22 武蔵野夫人 3:00pm (88分)	11 25 祇園囃子 2:00pm (84分)	12 28 近松物語 2:00pm (101分)
	13 4 折鶴お千 3:00pm (91分)	14 31 赤線地帯 3:00pm (85分)	15 32 ある映画監督の生涯 (150分) 3:00pm	17 休館	18 26 山椒大夫 4:30pm (124分)	19 29 楊貴妃 5:00pm (91分)
	17 30 新・平家物語 7:00pm (107分)	19 1 ふるさとの歌 他 (計97分) 7:00pm	21 3 瀧の白糸 7:00pm (102分)	23 西鶴一代女 7:00pm (136分)	第7回東京フィルメックス 特集上映 岡本喜八 日本映画のダンディズム	
20 21 22 23 24 25 26	第7回東京フィルメックス 特集上映 岡本喜八 日本映画のダンディズム					
27 28 29 30	25 祇園囃子 3:00pm (84分)	7 浪華悲歌 3:00pm (71分)	13 宮本武蔵 名刀美女丸 3:00pm (55分) (67分)	6 虞美人草 3:00pm (73分)	27 噂の女 2:00pm (83分)	2 藤原義江の ふるさと 2:00pm (86分)
12月	4 14 必勝歌 3:00pm (80分)	11 元禄忠臣蔵 前篇 3:00pm (112分)	26 山椒大夫 3:00pm (124分)	17 女優須磨子の戀 3:00pm (96分)	16 歌麿をめぐる五人の女 2:00pm (95分)	10 雪夫人絵図 2:00pm (85分)
	24 雨月物語 7:00pm (96分)	12 元禄忠臣蔵 後篇 7:00pm (106分)	29 楊貴妃 7:00pm (91分) * 岡野重雄氏によるトーク があります	15 女性の勝利 7:00pm (81分)	21 お遊さま 5:00pm (93分)	10 残菊物語 4:30pm (143分)
	11 19 我が戀は燃えぬ 3:00pm (84分)	8 祇園の姉妹 3:00pm (69分)	28 近松物語 3:00pm (101分)	24 雨月物語 3:00pm (96分)	17 女優須磨子の戀 2:00pm (96分)	21 お遊さま 2:00pm (93分)
12 13 宮本武蔵 名刀美女丸 7:00pm (55分) (67分)	26 山椒大夫 7:00pm (124分)	7 浪華悲歌 7:00pm (71分)	2 藤原義江の ふるさと 7:00pm (86分)	6 虞美人草 5:00pm (73分)	23 西鶴一代女 4:30pm (136分)	
18 11 元禄忠臣蔵 前篇 3:00pm (112分)	10 残菊物語 3:00pm (143分)	15 女性の勝利 3:00pm (81分)	29 楊貴妃 3:00pm (91分)	18 夜の女たち 2:00pm (73分)	26 山椒大夫 2:00pm (124分)	
25 9 愛怨峽 3:00pm (89分)	23 西鶴一代女 3:00pm (136分)	休館	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館
	12 元禄忠臣蔵 後篇 7:00pm (106分)	22 武蔵野夫人 7:00pm (88分)	25 祇園囃子 7:00pm (84分)	27 噂の女 7:00pm (83分)	19 我が戀は燃えぬ 5:00pm (84分)	24 雨月物語 5:00pm (96分)
	28 近松物語 7:00pm (101分) * 柳町光男氏によるトーク があります	32 ある映画監督の生涯 (150分) 6:30pm	休館	休館	休館	休館

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。